

第126回  
沖縄地方交通審議会  
船員部会 議事録

令和元年5月16日（木）

沖縄総合事務局

# 第126回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 令和元年5月16日（木）11時00分  
場 所 沖縄総合事務局 5F 聴聞室兼会議室

## 出席者：

公益委員 宮里委員、豊川委員、赤嶺委員  
労働者委員 柴田委員、屋比久委員  
使用者委員 宮城委員

沖縄総合事務局 屋良課長、宮良調整官  
新城補佐、仲里係長

## 議事次第

### ○開 会

### ○議 事

1. 第125回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況について
3. 意見交換

### ○閉 会

#### （配付資料）

1. 第125回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（平成31年4月分）
3. 平成31年度沖縄水産高等学校専攻科（漁業科・機関科・無線通信科）生徒募集要項（沖縄水産高校ホームページ掲載資料）

## 宮里部会長

定刻でございますので、第126回船員部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

## 事務局（仲里係長）

本日の出席状況ですが、公益委員3名、労働者委員2名、使用者委員1名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定により定足数を満たし、有効に成立していることを御報告いたします。

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

## 宮里部会長

それでは、初めに第125回船員部会の議事録の承認について、お諮りします。

お手元に配付されています議事録を御確認ください。

原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

## 各委員

（「異議なしの声」）

## 宮里部会長

では異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議事2の「管内の雇用状況」につきまして、事務局に説明をお願いします。質問は、最後に受け付けたいと思います。

## 事務局（新城補佐）

平成31年4月分の管内雇用状況等の概要について御報告いたします。

### ●求人状況について

新規求人件数は3件でした。前月に比べ9件減少、また、前年同月に比べ10件減少となっております。

月間有効求人数は16件でした。前月に比べ3件減少、また前年同月に比べ4件減少となっております。

月間有効求人数16件の内訳は、商船等16件となっております。  
月末未済求人数は3件でした。

#### ●求職状況について

新規求職数は8名でした。前月に比べ2名増加、また、前年同月に比べ1名減少となっております。

新規求職数8名の内訳は、商船等8名となっております。

月間有効求職数は17名でした。前月に比べ4名減少、また、前年同月に比べ2名増加となっております。

月間有効求職数17名の内訳は、商船等16名、漁船1名となっております。

月末未済求職数は13名でした。

#### ●成立状況について

4月は0件でした。

#### ●求人倍率について

4月の月間有効求人倍率は、0.94倍でした。前月に比べ0.04ポイント増加、また、前年同月に比べ0.39ポイント減少となっております。

#### ●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

4月の新規求職者8名のうち離職者6名の退職理由は船舶所有者都合等1名、自己都合5名、離職以外の方2名の求職理由は、就業中に転職を希望するもの2名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管外が3名となっております。

#### ●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は1名、支給延べ件数は1件で、基本手

当支給金額は168,496円でした。

その他手当の支給はなく、総支給額は168,496円となります。

以上、管内雇用状況等の概要説明を終わります。

### **宮里部会長**

はい、ありがとうございました。では、ただいまの説明について何か御質問ございますでしょうか。

### **宮里部会長**

私からいいですか。4月は求人数が少ないのですが、3月までに就職が成立したということですか。

### **事務局（仲里係長）**

4月の求人数が少ない原因は定かではないですが、こちらに申込みのある求人は中途採用のものばかりで、その件数が4月は3件しかなかったということです。

新規の求人は、紹介期限満了した後、再度同じ事業者が新規の求人として申込む傾向があるため、4月でいいますと再度提出する事業者が少なかったのも一つの要因だと思われます。

### **宮里部会長**

わかりました。ほかに御質問等ございますか。

### **柴田委員**

毎月沖縄管内の雇用状況等についてご説明していただいているところですが、月ごとだけの報告だけでなく、1年を通して求人・求職の状況にどのような傾向があったとか、今すぐにとは言いませんが、次回の部会の時に御参考までにお聞かせ願えればと思います。

### **事務局（仲里係長）**

求人倍率など総合的な話ということでおろしいですか。

**柴田委員**

求人や求職の傾向です。1年を通して見たときにどのような傾向があつたとか、例えば機関に関する求人や求職が多かったとか、航海に関するものが多かったとか、また、何月に何が多かったなどそのような説明をしていただいたほうが、昨年10月に新たに公益委員になられた方には毎月の話よりももう少し年間を通して見た時の傾向について説明していただければ良いのかなと思いますけれど。

**事務局（仲里係長）**

調べまして翌月の部会で回答したいと思います。

**柴田委員**

お願いします。

**豊川委員**

私も幾つか質問よろしいですか。資料9ページの月末未済求職者年齢別数内訳表の中で、60歳以上の年齢の方の構成比がかなり高いのですが、60歳以上でも就職が成立する方もいるのですか。

**事務局（仲里係長）**

おります。

**豊川委員**

60歳以上の未済休職者の方たちが今後、求職活動を続けていけば何らかの機会が巡ってくるものなのですか。

**事務局（仲里係長）**

海技士の資格を持っている人ということであれば、60歳以上の方でも就職が成立している実績もあります。今月で言いますと3級海技士の資格をお持ちの69歳の求職者が、求職票の申込みをした2日後に成立したという事例もあります。

全国的に見ても船員不足のため、資格をお持ちで働く方は高年齢でも成立する可能性はあります。

**豊川委員**

どのぐらいの年齢まで働くのですか。

**事務局（仲里係長）**

船員ですか。

**豊川委員**

イメージがわからないのですが。

**事務局（仲里係長）**

船員の高年齢化が進んでいるのは間違いないと思いますけども、70歳の高年齢の方であっても求職の申込みで窓口に来所する方もおられます。

**柴田委員**

事務局が言われたように資格を持っている方については、高年齢であっても求人者側の採用の優先順位は高いと思います。会社側にとつては資格を持っている人が船に乗らないと法定職員を満たさない。船によっては下の世代が資格を持ってない現状もある。

**豊川委員**

資格を有する方で体力もあってむしろ働きたい意欲がある方がいることはすごくありがたい話だと思います。

私も船員の現状を知らなかったので、高年齢でも働いていただける方たちがいなからどうなるのだろうと思ったりもします。

**柴田委員**

資料の円グラフに出ている50%以上が50歳以上の方についてですが、恐らく皆さん資格をお持ちの方だと思います。

船には法定職員があって、職種毎に何人乗せなければならないなどの縛りがあるため、ある意味このような結果をもたらしているのかもしれないですね。

**事務局（仲里係長）**

資料9ページの上段に甲板部職員、部員の別に数値が記載されておりますが、この職員というのが資格を持たれている方たちで求職の申込みをしているものを集計したものです。

船舶職員というのはいわゆる船長であるとか機関長、航海士などを希望している方のことで、この数を集計し内訳表を作成しております。

また、部員を希望される方でも資格をお持ちの方もおりますし、無資格の人もいるというような内訳表になります。

こちらの窓口の状況でいいますと、陸上職をされていた方が船員に

なりたいと求職活動をしている現状もあります。

**柴田委員**

逆な言い方をすると資格を持ってない部員の50歳以上、60歳以上というのはかなり採用の枠的には少ないと思います。

**事務局（仲里係長）**

司厨部であれば未経験者や無資格者であっても求人が出たりします。陸上でコックをやっていた方で船員未経験の方が、船舶料理士になりたいと求職活動をして就職した実績もあります。

**豊川委員**

ありがとうございました。

**宮里部会長**

陸上では建築の免許を持つ人が足りないです。現場監督ができる人が足りなくて今大変な状況です。

ほかにないようでしたら議事3の意見交換に移りたいと思いますが何かござりますでしょうか。

**事務局（仲里係長）**

私から前回の部会時のご質問についてお答えしたいのですが、よろしいでしょうか。

**宮里部会長**

よろしくお願ひします。

**事務局（仲里係長）**

前回の部会時にいただいたご質問について回答させていただきます。まず沖縄水産高等学校専攻科（無線通信科）の入学者15名に対し、卒業生13名、この卒業をしなかった者2名の進路状況等についてご説明願いたいとのことでしたが、沖縄水産高等学校の進路指導担当者に確認したところ、卒業に至る前に自主退学しており、進路状況等について把握していないとのことでした。

次に専攻科（無線通信科）卒業生の内4名が進学又は就職が未定となっている。この4名の卒業生について船員を就職先として考えているのかとご質問についてですが、沖縄水産高等学校進路指導担当者に

確認したところ、船員を就職先の一つとしては考えていないとのことでした。進路指導担当者によるとそもそも無線通信科に入学する生徒は船員を目指して入学している者が少ないとのことです。

次に沖縄水産高等学校専攻科（無線通信科）にⅡ類の募集があるのかとのご質問でしたが、専攻科（無線通信科）については、Ⅰ類又はⅡ類の区別はなく募集しているとのことでした。参考までに資料3. 沖縄水産高等学校専攻科の募集要項をご覧下さい。

資料3. 推薦入学の出願資格を見ていただければわかるかと思うのですが、専攻科漁業科と専攻科機関科については、本科や他の水産高校で学んできた生徒達が出願資格を持ち入学試験を受けるこれをⅠ類と呼んでおります。一般的な県立高校を経て進学する生徒の募集をⅡ類というように区分けして募集しているようです。

無線通信科についてはそのⅠ類、Ⅱ類の区別がなく応募できる形になっております。

### **宮里部会長**

ありがとうございました。

### **事務局（仲里係長）**

もう一つよろしいですか。

宮里部会長から無線通信科の卒業生が通信士として就職した者はいないのかというご質問があった件についてですが、前回の部会で配布しました就職先一覧表にも記載させていただきましたが、通信士ではなく航海士又は甲板員として採用されているとのことでした。

就職先が漁船を所有する水産会社であるため、将来的には通信士にしたいという意向を持っているのではないかとのことで進路指導担当者からは回答を得ています。

続けて関連情報というか参考までなのですが、無線通信科を卒業した卒業生が海上関係以外のどのようなところに就職したのかについても進路指導担当に確認したのですが、昨年と同じように航空局、九州管区警察局、KDDIなどに就職しているようです。

以上が前回の部会での質問の回答になります。

### **宮里部会長**

ありがとうございました。学校を卒業して直ぐに通信士になるというのはあまりないのですか。

### **事務局（仲里係長）**

卒業時に無線資格が取得できるのか又は取得したのかという話にな

ると思います。今回の水産会社が所有する漁船の乗組員として採用された2名は将来的に通信士になるのではないかと思われます。

**宮里部会長**

わかりました。

**豊川委員**

質問していいですか。資料の3 推薦入学（1）出願資格アについてですが、これは沖縄県立高等学校の海洋漁業系若しくは水産工学系の学科を卒業した者の募集ですか。これは沖縄県の県立高校以外の生徒は応募できないということですか。

**柴田委員**

私は推薦入試で沖縄水産高等学校の専攻科に入学しました。当時は沖縄県立高等学校卒業者以外でも推薦入学に応募できたのを覚えております。

この募集要項が当時と現在が変わったかどうかはわからないですが、私自身熊本水産高校を卒業して沖縄水産の専攻科に推薦で入学をしていますから、県外の高校卒業生も応募できるのではないかと思います。

**事務局（仲里係長）**

資料2ページを下段に記載の一般入学の欄をご覧いただくと、沖縄県立高等学校卒業生との記載がないため、おそらく他県の高校を卒業した生徒も一般入学であれば応募できるかと思います。

**豊川委員**

一般入学では応募できるけど推薦入学は応募できない。

**事務局（仲里係長）**

この募集要項を見る限りではそうですね。

**豊川委員**

何か変ですね。

**事務局（仲里係長）**

詳細はわかりかねますが、推薦入学、一般入学の別で、募集条件を変えているのは、沖縄県としての考え方があるのかもしれません。

募集要項の内容について、沖縄水産高等学校に確認しているわけではなく、ホームページ掲載資料を配布したまでなのでご了承ください。

### **豊川委員**

私が親の立場でこの募集要項を見ると、県外からの推薦入学の応募はできないと認識しています。機会があれば沖縄水産高等学校に確認してみたいと思います。窓口は広い方がいいと思うので。

### **事務局（仲里係長）**

推薦入学の出願資格から沖縄県立高等学校出身者を除くと、応募が増加して沖縄水産高等学校や宮古総合実業高等学校出身の生徒が入れなくなる可能性があるのではないかと思います。

### **豊川委員**

いつも定員は満たされている状態ですか。

### **事務局（仲里係長）**

沖縄水産高等学校の海洋技術科ですと県内でも人気のある学校になり、倍率も県立高校でいうと高い部類にあるはずです。

### **宮里部会長**

柴田委員は熊本県の学校の出身ですか。

### **柴田委員**

そうです。僕は熊本の水産高校を卒業しております。

### **宮里部会長**

推薦で入学したのですか。

### **柴田委員**

推薦入学です。私は一般の入学試験は受けてないです。12月ぐらいの試験だったと思うのですけが。

### **事務局（仲里係長）**

当時の募集方法と変えたかもしれないですね。

**宮里部会長**

そうかもしれない。

**豊川委員**

多分ここで議論することじゃないかもしれません、人気があって受け皿があるのに人がいないという、すごくアンバランスなことが起きているということですね。

**柴田委員**

そういうことですよ。

**事務局（仲里係長）**

学校として定められた定員があります。定員を多くするとなると実習船を大きくしなければならないはずです。

**豊川委員**

沖縄水産高校に入学したいという人が多く存在して、かつ人気があるというのに、そこの定員を増やす努力をするように働きかけなければ、ここで必ずひょうたんのくびれみたいなのができるという理解でいいということですね。

**柴田委員**

うちの団体も沖縄水産に入学したいという需要や船員の高齢化が進む中で海洋技術科の定員を増やしてくれと話はしているのですが、入学定員を増やすには現在の総トン数499トンの海邦丸五世では乗船させることのできる生徒数や部屋数を増やすことができない状況です。

海技士の養成施設として筆記試験免除の認定を受けるためには、学校在学中に実習船での乗船履歴が必要となります。

その実習船で乗船実習を行えるよう船の定員を増やそうと思ったら、現在ある船を大きくしなければ、生徒を乗せることができない。

生徒を乗船させることができなければ、卒業時に筆記試験免除の認定を受けることができない。すなわちそのような生徒の場合、海技士の資格取得を目指すには、卒業後ゼロからスタートしなくてはならない可能性があります。

そのような話がある中で、実習船を749トン級にサイズアップし建造する計画があるとのことです。実習船が大きくなれば乗船できる生徒数も増やすことができると思います。

沖縄水産高等学校の海洋技術科にはコーストマリンコースというのあります。沖縄水産高等学校海洋技術科40名の内訳の中で航海科15名、機関科15名、残り10名がコーストマリンコースというコ

ースになっておりまして、この生徒たちは海技士養成施設のコースではないため、乗船実習に行かない生徒たちです。

そのため卒業しても乗船履歴はないですし、船員養成課程の出身の生徒とはならないので、海技士の筆記試験免除の認定をもらうことができず卒業していきます。

### **豊川委員**

何かドラスティックに変えることは全然無理だと思うのですが、少しずつでもお伝えしていかないと恐らく10年後にはやっぱり動いておけば良かった振り返ることのほうがすごく多いと思います。おそらく沖縄水産高等学校も動いていると思うのですが、何かしらのサポートがもしかしたら必要なのかなという感じがします。

### **事務局（仲里係長）**

柴田委員のおっしゃるとおり、コーストマリンコースの生徒の中には船長コース、機関長コースに入学を希望したけれど選抜の結果、希望が叶わずコーストマリンコースに入学した生徒もいると聞いたことがあります。

学校先生も保護者へ説明はしているとのことですが。

### **豊川委員**

なりたいという思いがあるだけいいですよね。なりたくないが多くなると大問題ですよね。

### **事務局（仲里係長）**

船長コース、機関長コース、コーストマリンコースの振り分けは希望と成績を見て判断していると思います。

### **豊川委員**

成績が悪いとちょっと困りますけど。なりたいという人がなれない、なりたくない人を無理やりにとはいきないので、これで我々の生活が回るならいいですが、船員になる方がいらっしゃらないと生活が回らなくなるので、インフラ整備と同じように乗せてあげられる環境整備をするべきかと思います。

### **豊川委員**

学校の人たちが近視眼的にものをはかるので、それが一般的には普通の教育、普通高校であって、専門的なところに関して言えば、ひいては我々の生活とかインフラと同じようなものだから近視眼的な考え方だけでなく話を聞いてくださいというのをどこかで言わないといけ

ないですよね。

**柴田委員**

それはずっとと言っています。

**豊川委員**

もう少し本質を見てくださいと言わなければならぬのですが、誰が言えばいいのか。そういうところありますよね。

大学の定員にも決まりがありますので、定員の枠を超えて入学させてはいけないなどの問題もあります。

**柴田委員**

それはまた変な話ですね。

**豊川委員**

定員を超えて入学させると、大学で自ら定めた定員を守りなさいと言われたりします。

**宮里部会長**

補助金が削減されたりするのではないか。

**柴田委員**

そういうこともあるのですか。

**宮里部会長**

オーバーした分については補助金が減らされたりすると思います。

**柴田委員**

入学者が多ければ収入が増えるからですか。

**宮里部会長**

生徒数に対して教員は何名と定められていると思いますので、規定違反があると削減されたりするのではないかと思います。

**豊川委員**

教育の質の担保をしなければならないという意見もあるので。

**事務局（仲里係長）**

教授を増やしてくださいということにもなり得ますか。

**豊川委員**

定年などにより、教授の数が減っている中で、教育の質を担保しなければならない現状もあります。

**柴田委員**

教授も定年があるのですか。

**豊川委員**

学内にはあります。

**宮里部会長**

ほかにないようでしたら、事務局から連絡がありますのでお願いします。

**事務局（仲里係長）**

6月の船員部会は、6月20日（木）に5階聴聞室兼会議室で11時00分より開催いたします。

開催通知につきましては準備が整い次第お送りしますので、出席できない場合は事前に事務局まで御連絡をお願いします。

今回の議事録は作成次第メールで照会させていただきますので、御確認よろしくお願いします。

以上です。

**宮里部会長**

はい、ありがとうございました。

それでは、本日の部会はこれで終了したいと思います。

皆さん、御苦労様でした。